

## 第1回全国合同強化練習レポート

対ワールドカップ強化練習がスタートした。

モスクワで2月19日に開催されるワールドカップまでに、正月を除いて毎週末の合計7回、14日間の強化練習が予定されており、初回となる12月18,19日には、平安、中村、堀越、我妻、加藤といった代表選手の他に5名の推薦選手が参加。

初日は、塾長による基本稽古と海外選手に対する 対策の練習の後、加藤支部長の指導の下に、合計2時間半のきわめて体力的にきつい稽古となった。写真の1枚では、ミットを持っている者がいる横で組み合っている二人がいるが、実際に稽古に出た者でないと、何をやっていて、どれだけきついのかはわからないだろう。参加者は、トップの選手であるために、日常的にどれだけ厳しい稽古が必要なのか、改めて認識できたことと思う。

二日目は、山田支部長、森支部長、稲垣師範代の指導の下、 対策をはじめとして、様々な技の研究に時間を割いた。ワールドカップでの優勝を目指すにあたり、先輩諸氏が蓄積してきた技術をしっかりと引き継いで、自分のものとしてほしい。

二日間とも、立ち技でのスパーリング、掴み・投げからグラウンドのスパーリングの後に行った補強も普通の稽古とはだいぶ違った方法で実施し、これもなかなかきついものだった。

選手4人にコーチが1~2名ついての少人数での稽古により、2日間とも、密度の濃い稽古となったと思う。

選手は、5階級ともに優勝の栄冠を持ち帰ってくるという強い意志を持つとともに、コーチ・アドバイザーも、担当する階級の選手を絶対優勝させるという強い意志を持って、この後の強化練習に臨んでほしい。

初日の稽古の後に塾長を囲んで



加藤支部長指導のもとでの稽古風景



加藤支部長指導のもとでの稽古風景



山田、稲垣、森支部長の指導のもとでの稽古風景



山田、稲垣、森支部長の指導のもとでの稽古風景



(編集部注) 文中の 対策、 対策は原文のまま